膝周囲骨切り術の治療を受けた患者さんへ
当院では、より良い治療を行うための
膝周囲骨切り術の治療成績に関する検討
という調査を実施しています。

「膝周囲骨切り術の治療成績に関する検討」に関する研究を行っています。

膝周囲骨切り術の治療成績を検討して、改善すべき点の解明とさらなる技術向上のために研究を開始しました。膝周囲骨切り術の改善に役立てることを目的としています。

*この調査は、札幌医科大学附属病院臨床研究審査委員会で承認されて行っています。研究期間は病院長承認日～2031 年 10 月 31 日で、約 100 名の患者さんにご協力頂く予定です。

これまで行った手術記録や画像検査を用いるため新たに検査を行うことはありません。

この調査では、担当医師が手術の際に行った所見や画像検査などを解析しますので、新たに検査を行うことはありません。この研究を行うことで通常診療以外の余分な負担は生じません。

調査の対象は、一部の方です。

札幌医科大学附属病院において、2009 年 4 月 1 日から 2026 年 10 月 31 日までに手術を行った患者さんが該当します。

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

それぞれの情報には新たな番号を付け、番号とあなたのお名前を結びつける対応表は研究責任者が厳重に管理致しますので、あなたの個人情報は守られます。利用する情報はカルテ情報として診断名、性別、身長、体重、MRI 画像等、および術前後の臨床評価です。ご不明な点がありましたら、下記当院担当医師までお問い合わせください。

この調査にご自分の診療情報を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査研究へのご自分の診療情報の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。その場合は、下記担当医にお申し出ください。ただし、ご連絡いただいた時点で既に、研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からあなたに関するデータを取り除くことができず、研究参加を取りやめることができなくなります。

共同研究施設名称及び研究責任者

札幌円山整形外科	鈴木智之
帯広協会病院	勝又顕
製鉄記念室蘭病院	堀田和志
JR 札幌病院	池田康利

医学上の貢献

研究成果は変形生膝関節症の治療法の確立の一助となり、患者さんの治療と健康に貢献できます。

札幌医科大学附属病院　整形外科
平日　011－611－2111（教室内線 33330）
夜間・休日：　札幌医科大学附属病院整形外科病棟　内線 33410
臨床研究責任者：　神谷　智昭
（保健医療学部理学療法学第二講座　教授）